

# 事業報告 令和元年度 教育事業 通学合宿

令和2年2月12日(水)～15日(土)  
【対象】小学校6年生  
【場所】国立信州高遠青少年自然の家

## ～趣旨～

小学校卒業前に、同じ中学校へ入学する児童たちが共同生活を送ることで、互いを知り、連帯感を生み、よりよい中学校生活へとつなげていくきっかけとする。

## ～主催・実施校～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家  
実施校：伊那市立高遠小学校 伊那市立高遠北小学校 伊那市立新山小学校  
伊那市立高遠中学校

## ～活動日程～

12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)
*通学合宿の荷物を持って、通常通り学校に登校	6:00起床・身支度・清掃	6:00起床・身支度・清掃	6:00起床・身支度・清掃
	7:00朝食	7:00朝食	7:20朝食
	7:30自然の家出発	7:30自然の家出発	8:00 清掃・荷物整理
	登校	登校	荷物移動
	高遠北小 7:50着	高遠北小 7:50着	
	高遠小 8:10着	高遠小 8:10着	
学校生活	学校生活 授業参観(高遠北小) 1, 2校時	学校生活 授業参観(高遠小) 1, 2校時	9:00 食文化体験 おやきづくり (講師依頼)
15:00高遠小発			11:00 アンケート記入
15:15高遠北小発			11:15 終わりの会
16:00始めの会	16:10高遠小発	16:10高遠小発	12:00 学校着
16:30入室・荷物整理	16:30高遠北小発	16:30高遠北小発	
17:00 自由時間	プラネタリウム	17:00～ 高遠中学校生徒との交流	
	18:00夕食		
	19:00入浴		
	20:00宿題学習		
	20:45自由時間		
	21:15就寝準備		
	21:30就寝		

## ～参加者～

高遠小学校38名(男子18名・女子20名) 高遠北小学校9名(男子2名・女子7名)  
新山小学校 2名(女子2名)  
高遠中学校23名 合計72名

## ～活動トピックス～

### 活動I「宿題・学習」

わからないところは班の先生に教わりながら、各自の宿題や課題に取り組んだ。宿題とは別に個人での課題に取り組む児童もいて、それに倣って自主課題を設定し、取り組むようになった児童もいた。



## 活動Ⅱ「アイスブレイク」～仲間作り～

大学生のボランティアが中心となって、仲間作りのアイスブレイクを行った。最初は、緊張した表情だった児童たちも、ゲームが進むにつれて打ち解けて、歓声や笑い声があがっていた。ゲームが終わり、宿泊棟に行く頃には、自然と会話が生まれ、班の仲間と並んで楽しげに帰る姿が見られた。



## 活動Ⅲ「中学生との交流会」



高遠中学校の生徒会役員と1、2年生の有志23名が中心となって交流会を行った。中学生はゲームを進行したり、輪に入って一緒に活動したりした。仲間集めゲームではいろいろな学校の友達や中学生が混じるよう設定され躊躇することなくゲームに集中することができた。

## 活動Ⅳ「食文化体験 おやきづくり」～みんなで調理～

地域の伝統食である「おやき」を作った。講師を地域の方に依頼し、材料の説明から作り方まで細かく、丁寧な指導をしていただいた。初めて作る児童もあり、粉から団子へ、そして具を包んだおやきへと興味を持って友達と協力し合い、活動している姿が見られた。出来栄も上々で「おいしい!」と好評であった。



## ～参加者の声～

### 《参加児童》

- ・4日間もテレビやゲームのない生活は初めてだったけど、テレビやゲームをしない分、友達や先生と遊べたからよかった。私は普段年上の方と話すのが好きではなかったけど、ボランティアの先生はとても優しく面白い方がたくさんいたので安心して話すことができた。
- ・プラネタリウムではいろいろな星座が見られて楽しかった。中学生も来てくれ、楽しい遊びを考えてくれたのでうれしかった。そのおかげで他校の人とも仲良くなれてよかった。
- ・少し寂しい気持ちがあったけれど、とても楽しかった。班についてくれた先生が親切で、ぼくの絵をととてもよく評価してくれた。炭酸飲料もテレビもゲームもなかった生活はとても楽しくて、そっちの方がよかったかもしれないと思ったくらいだった。

### 《参加児童保護者》

- ・知らない友達と触れ合う機会はとても貴重で大切な経験、思い出になったと思います。中学校に行く前に顔見知りになれ、本人の心の中に「安心」を与えられたのではないかと思います。親自身も不安で不安で仕方なかったのですが、帰ってきた時に「ただいま～!!楽しかったよ!!」という言葉が聞け、大変うれしく思います。お世話になりました。
- ・修学旅行よりも長い期間子どもたちと生活するのは良い経験ですが、毎年インフルエンザも流行する時期で、兄弟関係に受験生などいると心配です。

### 《大学生ボランティア》

- ・中学校進学を間近に控えた子どもたちが、今まで知らなかった人たちと共に生活し活動していく中で、きまりを守り、周りの人に配慮する力を身につけてくれたように感じる。

## ～成果と課題～

- 「友達とまではいかないけれど、中学校入学前に知り合うことができてよかった。」とっている児童がたくさんいたことは良かった。
- テレビやゲームのない生活や、規則正しい生活リズムで過ごすことの大切さを感じたと感想に書く児童が多く、ねらいを達成することができた。